

経費増を全て価格転嫁できず収益圧迫、対応苦慮

賃上げ・人手不足、物流2024年問題など課題山積

～景況DI値は、前年同月比13.2ポイント低下のマイナス23.7～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 1月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比42.1ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比0.1ポイント低下のマイナス15.8。非製造業では、前月比26.3ポイント低下のマイナス36.8、前年同月比47.4ポイント上昇のプラス31.6。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比10.5ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比同水準のプラス5.3。非製造業では、DI値前月比36.8ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比5.2ポイント低下のプラス42.1。

収益状況 製造業では、DI値前月比31.6ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比26.3ポイント低下のマイナス26.3。非製造業では、前月比31.5ポイント低下のマイナス31.5、前年同月比10.6ポイント上昇のプラス5.3。

資金繰り 製造業では、DI値前月比5.2ポイント低下のマイナス5.2、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス31.6。非製造業では、前月比15.8ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比5.3ポイント上昇のプラスマイナス0。

雇用人員 製造業では、DI値前月比15.8ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比26.3ポイント低下のマイナス31.6。非製造業では、前月比15.8ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比5.2ポイント上昇のプラスマイナス0。

景況 製造業では、DI値前月比5.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス31.6。非製造業では、前月比36.8ポイント低下のマイナス36.8、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス15.8。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比21.0ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比13.2ポイント低下のマイナス23.7となった。製造業では、原材料費等の高騰が続くなか、一部で受注量が少なくなっており、低価格競争が厳しさを増すなど収益確保に苦慮している。非製造業では、5類後初めての年始となり、観光客や飲食客増加の動きはあるものの、年末需要の反動に伴う需要減や物価高騰、能登半島地震発生による消費マインド低下、降雪による人流減少の動きも見られた。県内景況は、燃料費や原材料、商品等仕入価格が依然として高止まるなか、売上・受注確保のため経費増を全て価格転嫁できず、収益を圧迫するなど厳しさを増し、対応に苦慮している。加えて、ゼロゼロ融資の返済など資金繰り面も厳しく、賃上げ財源の確保が困難な状況にあり、大企業との賃金格差が拡大し人手不足が深刻化している。今後も物流2024年問題への対応など課題が山積しており、先行き見通しは立たない状況にある。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

1月の全国倒産は、件数700件で、（前年同月546件、28.2%増）と、21ヵ月連続で前年同月を上回った。前年同月より154件多く、1月としては4年ぶりに700件台となった。2023年4月－2024年1月の累計件数は7277件と、1月時点で2022年度を超えた。負債総額は842億2900万円（前年同月507億6900万円、65.9%増）。今年度最少となったものの、2ヵ月連続で前年同月を上回った。

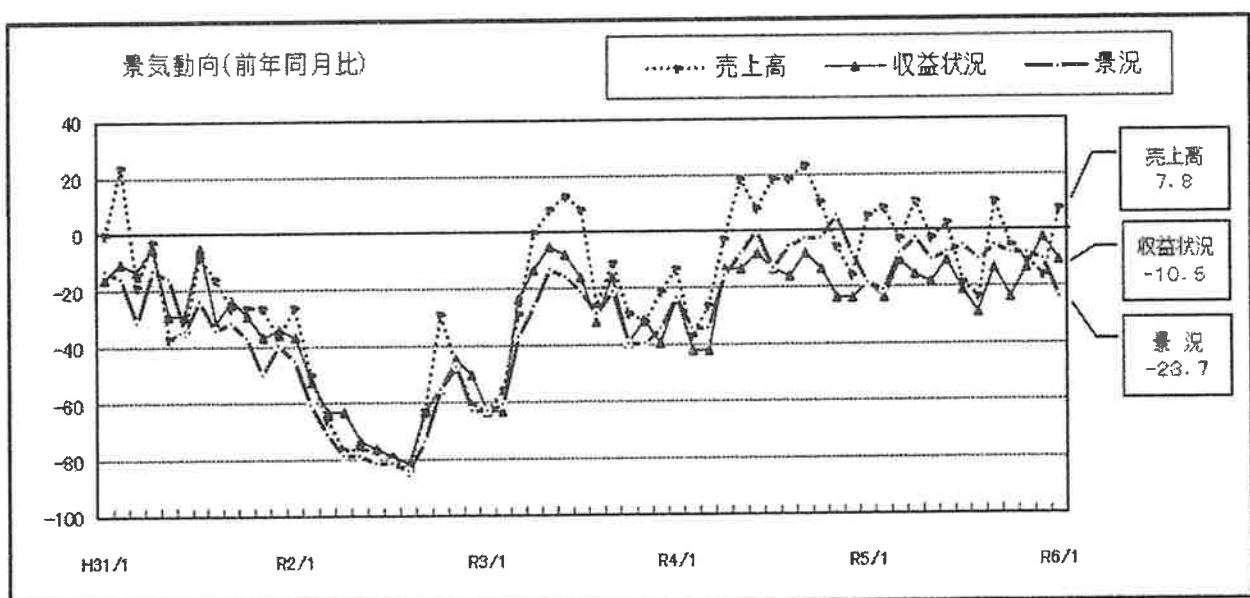
一方、1月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数7件（前月0件）、負債総額は12億800万円（前月0万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報12月分」）

鳥取県の12月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.27倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.27倍）で、前月より0.01ポイント上昇。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.12倍、米子所1.63倍、倉吉所1.50倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.43倍（季節調整値）で、前月より0.12ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比9.2%減少し、有効求人数も13.5%減少となった。産業別に前年同月と比較すると、運輸・郵便業（18.6%）、卸売業・小売業（1.8%）、医療・福祉（0.9%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比8.4%増加、有効求職者数は前年同月比6.5%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.28倍で、前年同月比で0.33ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ3.2%減少した。



1月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	10.5%	26.3%	-15.8 -42.1	21.1%	57.9%	-36.8 -26.3	15.8%	42.1%	-26.3 -34.2
(2) 在庫数量	5.3%	5.3%	0.0 31.6	8.3%	8.3%	0.0 -16.7	6.5%	6.5%	0.0 12.9
(3) 販売価格	5.3%	0.0%	5.3 10.5	10.5%	10.5%	0.0 -36.8	7.9%	5.3%	2.6 -13.2
(4) 取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	2.6%	-2.6 -2.6
(5) 収益状況	0.0%	21.1%	-21.1 -31.6	5.3%	36.8%	-31.5 -31.5	2.6%	28.9%	-26.3 -31.5
(6) 資金繰り	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	0.0%	26.3%	-26.3 -15.8	2.6%	18.4%	-15.8 -10.6
(7) 設備操業度	0.0%	15.8%	-15.8 -31.6						
(8) 雇用人員	0.0%	15.8%	-15.8 -15.8	0.0%	15.8%	-15.8 -15.8	0.0%	15.8%	-15.8 -15.8
(9) 景 況	0.0%	15.8%	-15.8 -5.3	5.3%	42.1%	-36.8 -36.8	2.6%	28.9%	-26.3 -21.0

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	10.5%	26.3%	-15.8 -0.1	47.4%	15.8%	31.6 47.4	28.9%	21.1%	7.8 23.6
(2) 在庫数量	0.0%	21.1%	-21.1 10.5	25.0%	8.3%	16.7 0.0	9.7%	16.1%	-6.4 6.5
(3) 販売価格	21.1%	15.8%	5.3 0.0	47.4%	5.3%	42.1 -5.2	34.2%	10.5%	23.7 -2.6
(4) 取引条件	0.0%	15.8%	-15.8 -5.3	0.0%	10.5%	-10.5 -5.3	0.0%	13.2%	-13.2 -5.3
(5) 収益状況	5.3%	31.6%	-26.3 -26.3	31.6%	26.3%	5.3 10.6	18.4%	28.9%	-10.5 -7.9
(6) 資金繰り	0.0%	31.6%	-31.6 -15.8	10.5%	10.5%	0.0 5.3	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3
(7) 設備操業度	10.5%	10.5%	0.0 10.5						
(8) 雇用人員	0.0%	31.6%	-31.6 -26.3	5.3%	5.3%	0.0 5.2	2.6%	18.4%	-15.8 -10.5
(9) 景 況	0.0%	31.6%	-31.6 -10.5	15.8%	31.6%	-15.8 -15.8	7.9%	31.6%	-23.7 -13.2

* D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から

「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ 卵の価格は前年同期比で1キロあたり約150円値下がりしているものの、原材料（小麦粉、砂糖、油脂等）全体としては依然高止まっており、収益を圧迫している。前年同月比で売上は増加、収益状況は改善した。

醤油⇒ 前年同月比で原材料費等の価格転嫁により販売価格は上昇したものの、売上、収益状況とも横ばいで推移した。県下で一番の生産規模であった事業者が自主廃業となり、業界全体への影響が懸念される。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 暖冬の影響により冬物の動きが悪く、春夏商品への影響が懸念される。人件費上昇や物価高の影響など、経費増が問題となっているが、加工賃に全て転嫁できていない状況。前年同月比で売上、収益状況とも横ばいとなった。

ニット製品⇒ 春夏物の受注の動きが鈍く、先行き好転の兆しを感じられない。受注動向は不透明な状況のなか、諸経費の増加により工場稼働維持に苦慮している。

【家具装備品】

⇒ 円安の影響による原材料等仕入価格の高騰及び燃料価格の高止まりによる輸送コストの増加により収益を圧迫している。多くの商品で値上げの動きもあり、消費者マインドも冷え込んでいる状況。前年同月比で売上は減少、販売価格は上昇したものの、収益状況は厳しい。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比でやや増加した。合板の生産量については前月比でやや減少となった。降雪のため出材は少なく丸太の価格は高くなっている。建築需要も少なく、製材品の動きに活発さは感じられず、低調となっている。プレカット加工の稼働率は、前月比横ばい、前年同月比は25%減で推移した。

【紙・加工品】

和紙⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。前年同月比で売上、収益状況とも横ばいで推移、大きな動きは見られなかった。

【印刷】

⇒ 年度末に向けて見積依頼や受注が増加しており、受注件数は増加、稼働率も上昇している。総じて売上は前月比で増加、前年同月比で横ばいとなった。来年度に向けての問い合わせの動きも増加している。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 1月の生コン出荷量は、前月比で約32%減少、前年同月比で約2%増加となった。依然として東部地区で受注量が少なく、4月から大幅な減少が続いている。ようやく災害復旧工事に動きが出始めたものの、小規模で工事数が多く、小型車指定のため対応に苦慮している。また、民間工事の案件が増加してきた

感があるものの、前年を超える勢いは感じられない。セメント価格、骨材価格、輸送燃料の値上げに伴って生コン価格も値上げされたが、一部民間工事計画の見直しや延期が見られる。若手人材の確保が課題となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件は現状では少なくなっており、低価格競争の状況。今後の見積の動きも見えておらず、厳しい状況が続くことが予想される。機械加工は、仕事量を何とか確保しているものの、全体的に少ない状況となっている。自動車関係はダイハツ等の認証不正問題の先行き見通しが立たない状況。家電や産業機械関係の受注でしのいでいるものの、低価格競争による受注単価減少に加え、短納期要請の対応が常態化しており、残業せざるを得ず、人件費等のコストアップで採算は厳しい。総じて、前年同月比で売上は減少、業況は厳しい。

鉄骨加工⇒ 県内の鉄骨造の物件が非常に少ないため、年明けから年度末までの山積み（月間・年間の受注高・状況）は厳しい状況となる見込みである。資材、人件費高騰の影響により建築単価は高止まりしているため、発注者の計画見合わせの動きも見られ、西日本全体でも山積みが低くなっており、赤字覚悟の低価格受注競争も散見される。

金属熱処理⇒ 1月の受注状況は稼働日数の関係もあり前月比で約5%減少、前年同月比で約9%の増加となった。金属加工の景況は厳しい状況が散見され、先行き不透明感が強まっている。また、自動車のEV化の進展に関する影響にも注視が必要となっている。前年同月比で販売価格は上昇し、売上も増加したが、エネルギー価格等諸経費は高止まっており、業況回復の見通しは立っていない。

【電気機械器具】

⇒ 発注側の在庫調整や生産調整が継続しており受注は依然として低迷している。原材料の供給は安定しているが、原材料価格高騰が続いており、経費増により収益面は厳しい。先行きが不透明な状況のなか、コロナ融資へ返済などにも影響が出かねない状況となっている。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、稼働日が少ないこともあり、前月比で売上、取扱数量とも大幅に減少した。前年同月比では稼働日が1日少なかったが、取扱数量は横ばい、売上は単価の上昇により増加した。鮮魚関係では、親ガニの漁期が終了したこともあり、前月比で売上、取扱数量とも減少した。前年同月比で稼働日が少ないのに加え、月後半の天候悪化により売上、取扱数量とも減少した。

中部地区⇒ 電子帳簿保存法、インボイス制度の開始により、事務負担の増加や混乱が見受けられる。また、人材不足に伴う業務への影響が見られる。総じて、売上は前月比で増加したが、前年同月比で横ばい、景況は依然として厳しい。

西部地区⇒ 新型コロナの5類移行を契機に対面営業や展示会等が再開されつつある。一方、食料品・消耗品の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴う

トラックの大型化等が散見され、影響の増大が懸念される。

水産物⇒ 時化模様が続き九州漁区から大量のサバの入港があり、昨年同様の水揚げ量となった。国内加工向けサイズが中心となり、浜高値で推移したが、冷蔵庫からの荷動きは遅滞気味で在庫数量が増加した。松葉ガニは不足状態が続くも、年末年始の特需終了後は落ち着いた相場で推移した。ベニズワイガニ量は昨年同様の水揚げ量であったが、輸入物の安価傾向、加工場の人出不足、能登半島地震の影響による石川県での需要減などから比較的安価で推移した。

リサイクル原料⇒ 依然として古紙の発生は減少傾向で推移しており、他地域からの進出により取扱量の減少が続いている。前年同月比で売上は減少、収益状況は厳しい。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取の商店街では、元旦に能登半島地震が発生し、正月シーズンの消費マインドが低下、想定より集客、売上は少ない状況となった。新型コロナが5類になり初めての年始を迎え、成人式等の行事も通常開催となり、外国人等観光客も多く、来街者は昨年に比べ増加している。仕入れ価格等諸経費の高騰に伴う販売価格への価格転嫁が追い付かず、収益を圧迫。商品値上げで消費離れを起こす動きも散見された。人手不足も深刻となり需要に応えられない状況も多く見られる。

中部地区⇒ 倉吉の商店街では、イベントの実施もなく、来街の動きは低調であった。月後半には降雪があり人流がストップし、売上に大きく影響した。県立美術館の開館を起爆剤として、商店街の盛り上げ、活性化を図っていくことを検討している。

西部地区⇒ 米子の商店街では、1月は月後半に寒波・降雪の影響で集客数が減少した。元町商店街のSNSで雪かき等日常の取り組み紹介が好評であり、SNSによる地域との繋がりでファンを増やし、活性化を図っている。

境港市の水産物小売では、年末は最も売上が伸びる繁忙期であり、その反動で閑散期に入ったが、前年同月と比較すると中国、韓国からの観光客が増加傾向にあることがプラス要因となったのか、売上に若干増加の動きが見られた。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、正月三が日の天候はまずまずで、観光客の入込客が増加したものの、それ以降は砂の美術館の休館、下旬の降雪等もあり、入込客数は減少した。売上高は前月比で減少、前年同月比で増加となった。

米子市のホテル・旅館では、正月休みで入込客が増加する時期であり、前月比で日帰客が増加したが、宿泊客数は減少した。前年同月比では、新型コロナが5類になり、日帰客、宿泊客とも増加し売上も増加したが、素泊まり客が多く客単価が低下、収益状況は悪化した。インバウンド比率は上昇傾向にあるが、近隣県で割引制度が開始された影響もあり、景況は低調な状況となっている。

三朝温泉では、正月明けから一気に客足が遠のいた感があった。団体ツアーについては、徐々に戻りつつある。人材確保については、旅館ごとに異なるが、全体では不足している状況。売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった。

羽合温泉では、年始や週末の宿泊はある程度確保できたが、平日の宿泊が厳しい状況であった。総じて1月の宿泊客数は前月比で約30%減少。前年同月

比では宿泊客数は微増、宿泊単価の上昇もあり売上は増加した。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を含わせて1,526台で前月比が約23%減少、前年同月比は約26%の減少となった。中古車は437台で前月比約19%減少、前年同月比は約10%増加した。継続検査（軽自動車を含む）は12,895台となり前月比で約6%減少、前年同月比は1.4%増加した。総じて、前年同月比で販売価格が上昇し、売上は増加したものの、収益状況は厳しい。

【建設業】

⇒ 12月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額61億円（前年同月比58.3%増加）、件数117件（同50.0%増加）となった。年度累計（令和5年4月～令和5年12月）は、請負金額750億円（前年同月比21.1%増加）、件数1,386件（同3.0%増加）となった。公共投資、設備投資とも前年同月比でプラスとなったが、住宅投資は持家系を中心に引き続き弱い動きとなっている。建設資材価格の高止まりやエネルギーコスト増により、採算面はさらに厳しさを増している。4月から建設業の時間外労働の上限規制が施行されるため、対応に苦慮している。

12月の鳥取県新設住宅着工戸数は221戸（持家133戸、貸家88戸）で、前月比16%増加、前年同月比20%増加となった。

【運輸業】

東 部 地 区⇒ 1月の物流は、農産物関係の輸送量は減少しているものの、製造業関係の出荷量が増加したこともあって、概ねに動きは安定している。復路輸送は荷物の発注情報量が減少しているなか、荷物不足に改善傾向が見られ、空車運行は減少している。売上は降雪の影響があったものの、前月比、前年同月比とも微増となったが、燃料価格は高止まりしており、収益率は低下、厳しい状況が続いている。2024年問題は、今のところ大きな動きはなく、静観の状況となっている。

西 部 地 区⇒ 燃料価格については前月価格と同水準で推移、高止まりの状況が続いており、非常に厳しい。運送関連では、受注量は大幅に減少した。冬場は農繁期ではないのに加え、積雪のため受注が減少する傾向にある。復路荷物量も大幅に減少した。今年4月より適用される2024年問題については、人員不足のため輸送距離の調整に各社とも苦慮している状況となっている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業に対し、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・収益が上がっている大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・エネルギー価格をはじめ、コストの高騰に対する支援を望む。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
売上高	製造業	-31.5	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	0.0	0.0	-63.1	5.2	10.5	-10.5	26.3	-15.8	15.7
	非製造業	-36.9	31.6	57.9	-57.9	5.2	-15.8	-21.1	26.3	-26.3	21.0	31.6	-10.5	-36.8	0.1
	全業種	-34.2	10.5	28.9	-34.2	-5.3	-7.9	-10.5	-18.4	-10.5	15.8	10.5	7.9	-26.3	7.9
在庫数量	製造業	5.2	0.0	0.0	5.3	10.5	10.5	-5.2	-10.6	-21.1	-15.8	-5.2	-31.6	0.0	-5.2
	非製造業	8.4	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	-8.3	8.4	16.7	0.0	16.7	0.0	-8.4
	全業種	6.4	3.2	6.7	3.2	6.5	6.4	0.0	-9.6	-9.6	-16.1	-3.2	-12.9	0.0	-6.4
販売価格	製造業	21.0	21.1	0.0	5.3	0.0	-5.3	-10.6	-15.8	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	5.3	-15.7
	非製造業	10.6	15.8	15.8	-10.6	10.6	5.3	21.1	31.6	-5.3	0.0	42.1	36.8	0.0	-10.6
	全業種	15.8	18.4	7.9	-2.6	5.3	0.0	5.3	7.9	-10.5	-7.9	18.4	15.8	2.6	-13.2
取引条件	製造業	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.3	0.0
	非製造業	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3
	全業種	-5.3	-7.9	0.0	-2.6	0.0	0.0	-5.3	-2.7	-2.7	-2.7	-2.7	0.0	-2.6	2.7
収益状況	製造業	-31.6	-31.6	-5.2	-26.3	-15.8	-31.5	-21.1	-47.3	-31.5	-10.5	-15.8	10.5	-21.1	10.5
	非製造業	-31.5	0.0	21.1	-42.1	-10.5	-15.8	-47.4	21.0	-21.0	26.3	26.3	0.0	-31.5	0.0
	全業種	-31.6	-15.8	7.9	-34.2	-13.2	-23.7	-34.2	-13.1	-26.3	7.9	5.2	5.2	-26.3	5.3
資金繰り	製造業	-5.2	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-15.8	-21.1	-15.8	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	0.0
	非製造業	-15.8	0.0	10.5	-26.3	0.0	-15.8	-26.3	-5.3	-26.3	0.0	10.5	-10.5	-26.3	-10.5
	全業種	-10.6	-10.5	0.0	-21.1	-5.2	-15.8	-21.1	-13.1	-21.1	-5.3	2.6	-5.2	-15.8	-5.2
設備操業度	製造業	-5.3	-5.3	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-5.2	-36.8	-10.5	-5.3	-10.5	15.8	-15.8	-10.5
雇用人員	製造業	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	-15.8	-5.3
	非製造業	-15.8	-5.3	0.0	5.3	10.5	-10.5	5.3	10.5	-10.5	0.0	5.3	0.0	-15.8	0.0
	全業種	-13.2	-5.3	-5.2	2.7	2.7	-5.3	2.6	-5.2	-10.5	-5.3	-2.7	0.0	-15.8	-2.6
景況	製造業	-36.8	-42.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-21.0	-52.6	-31.6	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	21.0
	非製造業	-31.5	5.3	21.1	-15.8	15.8	10.6	-21.1	21.1	-5.3	10.5	15.8	0.0	-36.8	-5.3
	全業種	-34.2	-18.4	-2.6	-23.6	-10.6	-13.2	-21.1	-15.8	-18.4	-7.9	0.0	-5.3	-26.3	7.9

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との 増減幅
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
売上高	製造業	-26.3	-15.8	-36.8	-31.6	-31.6	-36.8	-42.1	-52.7	-15.8	-36.8	-26.3	-15.7	-15.8	10.5
	非製造業	36.9	31.6	31.6	52.6	26.3	42.1	5.3	5.3	36.9	26.3	5.2	-15.8	31.6	-5.3
	全業種	5.3	7.9	-2.7	10.5	-2.6	2.6	-18.4	-23.6	10.5	-5.3	-10.5	-15.8	7.8	2.5
在庫数量	製造業	10.5	0.0	-10.5	5.3	-5.3	-10.5	-21.0	-21.0	-21.1	-26.3	-26.3	-31.6	-21.1	-31.6
	非製造業	16.7	16.7	16.7	8.4	8.4	8.4	8.4	-8.3	8.3	-8.3	8.3	16.7	16.7	0.0
	全業種	12.9	6.5	0.0	6.5	0.0	-3.2	-9.7	-16.2	-9.7	-19.4	-12.9	-12.9	-6.4	-19.3
販売価格	製造業	31.5	36.8	21.0	26.3	26.3	10.5	15.7	5.2	0.0	5.2	5.3	5.3	5.3	-26.2
	非製造業	52.6	21.1	26.3	36.8	36.9	47.3	52.6	57.9	47.3	42.1	52.6	47.3	42.1	-10.5
	全業種	42.1	28.9	23.6	31.6	31.5	28.9	34.2	31.6	23.6	23.7	28.9	26.3	23.7	-18.4
取引条件	製造業	-5.2	-5.3	-5.2	-10.5	-5.2	-21.0	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.6
	非製造業	-5.3	-15.8	-21.1	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5	-5.2
	全業種	-5.3	-10.5	-13.8	-13.2	-10.5	-21.1	-13.2	-15.8	-13.2	-13.2	-15.8	-7.9	-13.2	-7.9
収益状況	製造業	-57.9	-63.2	-52.6	-52.6	-47.3	-47.3	-42.1	-57.9	-47.3	-52.6	-26.3	0.0	-26.3	31.6
	非製造業	21.1	15.8	31.6	21.0	10.5	26.3	0.0	0.0	21.0	5.3	0.0	-5.3	5.3	-15.8
	全業種	-18.4	-23.7	-10.5	-15.7	-18.4	-10.5	-21.0	-29.0	-13.1	-23.6	-13.1	-2.6	-10.5	7.9
資金繰り	製造業	-15.8	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-15.8	-15.8	-31.6	-15.8
	非製造業	5.3	5.3	5.3	0.0	-10.6	0.0	-10.5	-21.0	5.3	0.0	-10.5	-5.3	0.0	-5.3
	全業種	-5.3	-13.2	-13.2	21.0	-26.3	-15.8	-23.7	-23.6	-13.2	-10.5	-13.1	-10.5	-15.8	-10.5
設備稼働率	製造業	-15.8	21.1	-15.8	-21.1	-21.0	-31.6	-31.6	-52.6	-31.5	-36.8	-31.6	-10.5	0.0	15.8
雇用人員	製造業	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-31.6	-21.1
	非製造業	-10.6	10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	-5.2	0.0	10.6
	全業種	-10.5	0.0	-10.5	-7.9	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-5.3	-15.8	-5.3
景況	製造業	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-42.1	-42.1	-36.8	-36.8	-26.3	-26.3	-21.0	-21.1	-31.6	0.0
	非製造業	-5.2	0.0	26.3	26.3	21.1	26.3	26.3	15.8	15.8	10.5	5.3	0.0	-15.8	-10.6
	全業種	-18.4	-21.1	-7.9	-2.6	-10.5	-7.8	-5.3	-10.5	-5.2	-7.9	-7.9	-10.5	-23.7	-5.3

情報連絡員報告総括表（令和6年1月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向（前月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製 造 業	食料品	1	0	1	1	0	1	0	2	0	0	2	0	1	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	2	0	
	繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	
	木材・木製品	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1	0	4	0	4	0	0	2	2	2	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	
	化学ゴム																												
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
	一般機器	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
輸送用機器																													
その他																													
非 製 造 業	19	2	12	5	1	17	1	1	18	0	0	18	1	0	15	4	1	16	2	0	16	3	0	16	3	0	16	3	
	100%	10.5%	63.2%	26.3%	5.3%	89.5%	5.3%	5.3%	94.7%	0.0%	0.0%	94.7%	5.3%	0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	84.2%	15.8%	
	卸売業	2	3	1	1	5	0	2	3	1	0	6	0	1	5	0	0	6	0				0	6	0	1	5	0	
	小売業	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	0	1	0	1	0	
	商店街	0	1	3	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	3	1				0	4	0	0	2	2	
	サービス業	0	0	5				0	4	1	0	5	0	0	1	4	0	2	3				0	3	2	0	0	5	
	建設業	1	0	0				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0	
	運輸業	1	0	1				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	2	0	0	1	1	
	その他																												
	19	4	4	11	1	9	1	2	15	2	0	19	0	1	11	7	0	14	5				0	16	3	1	10	8	
100%	21.1%	21.1%	57.9%	8.3%	75.0%	8.3%	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	57.9%	36.8%	0.0%	73.7%	26.3%				0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	52.6%	42.1%		
38	6	16	16	2	26	2	3	33	2	0	37	1	1	26	11	1	30	7	0	16	3	0	32	6	1	26	11		
100%	15.8%	42.1%	42.1%	6.5%	83.9%	6.5%	7.9%	86.8%	5.3%	0.0%	97.4%	2.6%	2.6%	68.4%	28.9%	2.6%	78.9%	18.4%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	84.2%	15.8%	2.6%	68.4%	28.9%		

情報連絡員報告総括表（令和6年1月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	0	2	0	2	0
繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0
木材・木製品	0	1	3	0	2	2	1	1	2	0	2	2	0	0	4	0	2	2	0	3	1	0	3	1	0	0	4
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1
鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1
一般機器	1	1	1	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	2	12	5	0	15	4	4	12	3	0	16	3	1	12	6	0	13	6	2	15	2	0	13	6	0	13	6
100%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	78.9%	21.1%	21.1%	63.2%	15.8%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	63.2%	31.6%	0.0%	68.4%	31.6%	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	68.4%	31.6%	0.0%	68.4%	31.6%
卸売業	0	5	1	1	4	1	3	3	0	0	6	0	1	4	1	0	6	0				0	5	1	1	4	1
小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	2	2	0	2	2	0	2	2	0	0	3	1	1	3	0	0	4	0				0	4	0	0	3	1
サービス業	4	0	1				3	1	1	0	4	1	3	0	2	2	3	0				1	4	0	2	1	2
建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
運輸業	1	0	1				0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	1	1				0	2	0	0	1	1
その他																											
19	9	7	3	3	7	1	9	9	1	0	17	2	6	8	5	2	15	2				1	17	1	3	10	6
100%	47.4%	36.8%	15.8%	25.0%	58.3%	8.3%	47.4%	47.4%	5.3%	0.0%	89.5%	10.5%	31.6%	42.1%	26.3%	10.5%	78.9%	10.5%				5.3%	89.5%	5.3%	15.8%	52.6%	31.6%
38	11	19	8	3	22	5	13	21	4	0	33	5	7	20	11	2	28	8				2	1	30	7	3	23
100%	28.9%	50.0%	21.1%	9.7%	71.0%	16.1%	34.2%	55.3%	10.5%	0.0%	86.8%	13.2%	18.4%	52.6%	28.9%	5.3%	73.7%	21.1%				2.6%	78.9%	18.4%	7.9%	60.5%	31.6%